

# 名



# 宮



# 城



三洋テクニクス株式会社（仙台市）  
サービスエンジニア（機械修理工）  
**佐藤 重雄**さん  
Shigeo Sato

1949年5月16日生まれ。  
高校卒業後、神奈川県横浜市の機械メーカーに就職し、サービスエンジニアの道を歩み始める。30歳を超え、同期だった浅野博之三洋テクニクス現会長の誘いもあり、前身の三洋機械に転職。以来、複雑な構造を持つ海外からの輸入機械など高難度の修理で実力を発揮してきた。1級建設機械整備技能士。

三洋テクニクス株式会社  
〒983-0036 仙台市宮城野区菅竹3-1-40  
TEL 022-232-6811 <https://sanyo-tec.co.jp/>

好きこそものの上手なれ  
夢中になれるものには  
誰もが一生懸命努力します

30歳を過ぎた頃、「うちでサービスマンとして働かないか」と声を掛けてくれたのが浅野博之三洋テクニクス現会長です。その誘いで仙台へ来て、三洋テクニクスの前身である三洋機械へ入社しました。今もそうですが、当時、建設機械に詳しい優秀な営業マンがいて、いろんな機械をサービエンジニアとして見るようになりました。持ち込まれる機械には輸入品や特殊なものも多く、それらはデータや資料、整備工具、機器が整っていない場合がほとんど。随分苦勞してきましたが、やはり仕事を完遂したときの喜び、顧客からの感謝の言葉のうれしさは実に大きいものです。

ときには現場に張り付いて、昼夜問わず修理作業を行うこともありました。顧客が困るのは現場が止まることです。故障機械を24時間以内に復帰させることをいつも心掛けてきました。また、会社が掲げる「正速美安・安」というスローガンを強く共感します。正確に速く、そして美しく、できるだけ安価にという意味の「正速美安」に、絶対に守らねばならないものとして安全があるという点で、もう一つの「正速美安」です。大事にすべきことが過不足なく盛り込まれています。

ところで私は、好きこそものの上手なれは真理だと思っています。好きなことには夢中になるし、一生懸命努力する。高校生の皆さん、ぜひ、自分の好きなものを通して見える未来を想像してみてください。素敵な大人の自分がそこにいることでしょう。

コミュニケーションが何より大事です  
自分が手掛けた建築物が  
出来上がったときの喜びは大きい

工業高校を卒業し、当初の予定通り、電機メーカーに勤めたのですが、働いてみて分かったのは自分にその仕事は向かない、ということでした。入社3カ月で早々に退職しました。しかし、次の仕事がなかなか見つからない。父がそんな私を見かねて、自分の働く会社である松居組に誘ってくれました。松居組ではとび工をしてほしいとのことでした。そのときは、高い所は苦手な方でしたから、どうなるんだろうと思う気持ちもあったのですが、人間、慣れるものですね。徐々に恐怖心は薄らいでいきました。振り返ってみれば不思議なもので、そんなとびの出合いだった私が「宮城の名工」に選ばれています。ありがたい限りです。現場に入って、1、2年目くらいですぐ

に班長を任せられるようになるのが通例で、それは私も同様。20歳くらいの私が班長として当時悩んだのは、現場のマネージメントでした。班の仲間はどう動いてもらうか、年上の作業員さんにどう指示すればいいのかが、手探りでした。それでも、早く現場全体を見る職長になりたいという思いがありました。自分なりに努力しました。また、安全かつ高品質に、そして、できるだけ早く作業を進めるにはどうしたらいいかを常に考えてきた自負もあります。体を動かすこと、ものづくりが好きな人にとびはうってつけ。自らが携わった建築物の完成からは実に大きな喜びを得られます。ぜひ、多くの高校生の皆さんにこの世界に入ってもらいたいです。

株式会社松居組（仙台市）  
とび工  
**加藤 亘**さん  
Wataru Kato

1974年6月17日生まれ。  
父の勧めもあり、建築の世界へ。松居組に入社し、とび工の仕事始める。持ち前の好奇心と向上心により、めきめきと頭角を現し、20代前半で現場の責任者を任されるまでになる。これまでに、1500人程度が従事する現場の取りまとめを担当したこともある。“安全かつ高品質に、そして早く”をモットーとする。1級とび技能士。



株式会社松居組  
〒980-0003 仙台市青葉区小田原6-8-41  
TEL 022-262-7551 <http://www.matsui-gumi.co.jp/>

宮城県は、長年にわたり同一職業に携わり、優れた技能により業界発展に大きな役割を果たした技能者を「宮城県卓越技能者（宮城の名工）」として表彰している。昨年度は10人を選出。ここでは建設機械や特殊車両の修理点検技能に優れる佐藤重雄さん（サービスエンジニア※機械修理工）と、多くの提案・考案により作業能率の向上を図るとともに後進の育成にも尽力してきた加藤亘さん（とび工）を紹介する。

# 工